スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

長野県　上伊那郡飯島町

自 治 体 名 ： 長野県県上伊那郡飯島町
担 当 課 名 ： 教育委員会
電 話 番 号 ： 0265-86-3111(内線635)

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	86.94 ㎢
人口(R6.4時点)	8,922 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	195 人
部活動数	10 部活 (スポーツ7、文化3)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の運動部活動は軟式野球部、サッカー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部(休止中)、女子ソフトテニス部の7つが活動している。

生徒数の減少に伴い教職員数も減少し、部活動数の維持が困難になってきた。町単独ではチームが組めない状況が出始めており、子どもが希望するスポーツができる体制づくりが求められている。

指導を教員に頼る部活動が多く、教職員の時間外労働が削減できない。外部指導員を募集してもなり手がとても少なく、全ての種目の地域指導者を確保できない。

現状は地域指導者及び兼職兼業の教職員を中心に指導にあたっている。

こうしたことから、近隣市町村との広域での取り組みが可能か検証する必要がある。

令和6年度 飯島中学校 部活動男女別生徒数一覧

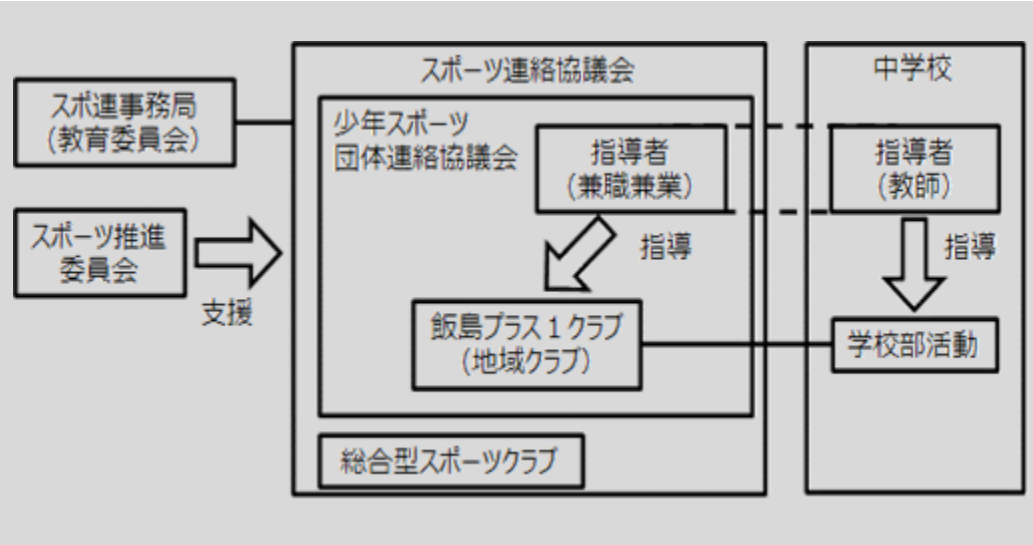
部活動	学年	男子	女子	合計	大会参加	備考	顧問	外部指導者
野球	1年	14	0	26			竹村 和浩 日岐 秀明	久保田 伸
	2年	4	0					
	3年	7	1					
サッカー	1年	8	0	23	2 中止	27	小岩 泰輔 倉田 佳和	杉田 繁樹
	2年	3	0		2 中止			
	3年	12	0					
男子バスケットボール	1年	3		11			松崎 文哉 鈴木 雅美	大野 俊治
	2年	8						
	3年	0						
女子バスケットボール	1年		4	11			長谷川隆貴 鈴木 雅美	増山 美恵 久保田浩史
	2年		5					
	3年		2					
男子バレーボール	1年	0		10	7 中止 3 中止	20	小田切克仁 三石 雅幸 (水野叶夢)	
	2年	7						
	3年	3						
女子バレーボール	1年		0	0	休部			
	2年		0					
	3年		0					
女子ソフトテニス	1年		6	15			桑 一紀 片桐 月菜	久保田 博
	2年		0					
	3年		9					
吹奏楽	1年	2	10	38			田中 万智 福澤 美恵	
	2年	2	10					
	3年	1	13					
演劇	1年	1	3	10			大兵 律子	
	2年	0	2					
	3年	2	2					
美術	1年	1	7	25	3年男子1名個人大会に出場		唐澤 優佳	
	2年	0	5					
	3年	4	8					
柔道	1年	1	0	1	…	★学校に部活動がなく、社会体育として活動し、中体連の大会に出場	増田 祐美 小坂 恵子 水野 叶夢	
	2年	0	0					
	3年	0	0					
陸上	1年	0	2	2				
	2年	0	0					
	3年	0	0					
水泳	1年	1	1	2				
	2年	0	0					
	3年	0	0					
バドミントン	1年	0	0	1				
	2年	1	0					
	3年	0	0					
新体操	1年		0	1				
	2年		1					
	3年		0					
無所属	1年	1	1	19				
	2年	11	1					
	3年	2	3					
	合計	99	96	195				

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・生涯学習係…部活動地域移行の主幹、スポーツ団体との連携、スポーツ環境の整備
・こども室…学校との調整・連携、学校に関する事項について

◉首長部局

・首長…行政間の地域クラブ広域化に関する意識共有
・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和６年４月	教育委員会内打合せ
令和６年４月	地域クラブ活動の実施
令和６年５月	中学校部活動運営委員会
	中学校顧問との打合せ
令和６年７月	飯島町少年スポーツ団体連絡協議会第1回懇談会
	部活動地域移行推進委員会
令和６年11月	クラブとの意見交換会
令和７年１月	発足式に向けた町村協議
	中学校新入生ガイダンス説明
令和７年２月	広域地域クラブ準備会
	飯島町少年スポーツ団体連絡協議会第2階懇談会
令和７年３月	広域地域クラブ発足式

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		7クラブ（7部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	3人

②各クラブに関すること（一部記載）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	会費	大会参加方法
レッドディアーズ	兼職兼業の教職員	バレーボール	月 4回ほど	休日AM	3年：3人 2年：10人 1年：7人	4月～3月	飯島町、中川村の体育施設	2 人	-	中体連：部活動 その他：地域クラブ
飯島FCJrユース	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月 4回ほど	休日AM	3年：12人 2年：5人 1年：10人	4月～3月	中学校	2 人	-	部活
飯島クラブ	保護者	軟式野球	月 4回ほど	休日AM	3年：8人 2年：4人 1年：14人	4月～3月	町内体育施設	2 人	-	部活

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●実績なし

2.実証内容と成果

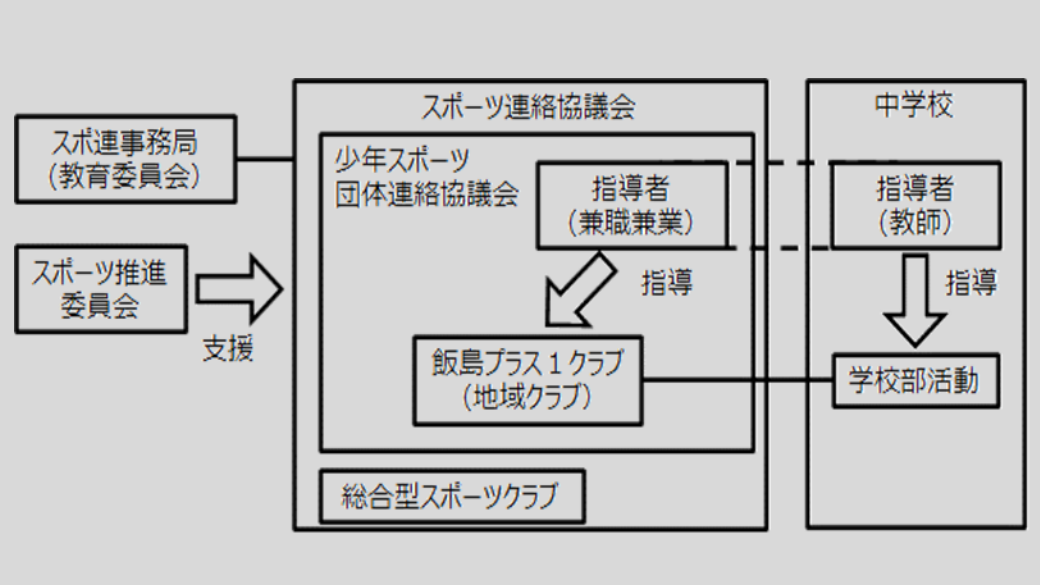
スポーツ庁

主な取組例

●飯島プラス１クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス
運営団体名	飯島プラス１クラブ
期間と日数	全競技：4月～3月 (部活動指針に示される活動の範囲内)
指導者の主な属性	地域スポーツ団体指導者、 兼職兼業教職員
活動場所	町内体育施設及び中川村体育施設
主な移動手段	保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

記入例：

●飯島プラス１クラブ会長　１名

役割：クラブ責任者

●飯島プラス１クラブ事務局　３名

役割：謝金等の支払い、地域クラブ化推進業務、関係団体との調整など

●クラブ指導者　８名

役割：各クラブの運営・活動に関すること

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

統括コーディネーターを1名配置し、関係団体・町村間の連絡調整・指導助言等を行う。

男子バレーボール部の広域地域クラブ化へ向けて取り組んだ。

地域クラブ移行推進計画を説明する機会を作った。

取組の成果

令和5年度は生涯スポーツを担当する職員が1名のみで、地域移行に関する業務に手が付けられなかったが、令和6年度はスポーツ担当係長、統括コーディネーターを配置し業務にあたった。

隣接する中川村との広域地域クラブ協議会設置を目指し取り組んできたが、協議会設置には至らず。
しかし、かねてより合同部活を行っていた男子バレーボール部を広域地域クラブとして発足することができた。
町村間の移動や町村からの補助についてなどクラブ運営をしていく中で課題を発見し、一つ一つ解決していく。

学校やスポーツ団体に関係する会議へ積極的に参加し、関係者への説明する機会を作った。

コーディネーターの具体的な動きの実績

・中学校、中川村、スポーツ団体との各種調整
・地域クラブ移行へ向けた推進計画の作成
・保護者、スポーツ団体等への説明会の実施

今後の課題と対応方針

・町村間における連携の強化及び広域協議会の設置
・クラブ運営に関わる行政支援策の検討
・ほか6部活の広域クラブ化も含めたクラブ運営体制の強化

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

研究推進協議会に諮り、審議する仕組み作りはできなかったが、かねてより少年スポーツ団体の指導にあたっている地域指導者や検兼職兼業の教職員、退職した元教員を主な指導者として生徒が安心して活動できる体制つくりに努めた。

人材バンクの人数

105名

人材バンクの年齢構成

20代	12名
30代	18名
40代	28名
50代	25名
60代以上	22名

登録者属性

飯島町スポーツ連絡協議会に指導者登録している方々

種目

ソフトボール
サッカー・バドミントン
バレーボール
ソフトバレーボール
ソフトテニス
剣道・柔道・空手・弓道
陸上・ゴルフ
マレットゴルフ　など

資格有無

資格制度のある競技については資格保有者有

取組の成果

地域指導者(サッカー、ソフトテニス)や兼職兼業の教職員(バレー)、退職された元教職員(バスケ)など、長年当町のスポーツ振興にご尽力いただいている地域指導者や、競技レベルの向上や生徒の心身の発達に長年関わっている教職員の方を中心に指導確保に努め、生徒が安心してスポーツ活動を行える体制つくりを行った。

長期的、将来的な指導者の確保として、人材バンクの活用や協議会での審議等を活用し指導者の質・量の確保を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

一部競技の指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの指導者から行った。

町スポーツ連絡業議会が主催する各種会議等に参加し、地域移行推進計画の説明する機会を作った。

取組の成果

総合型地域スポーツクラブからサッカーの指導者を確保することができた。

協議会主催の会議へ参加し、推進計画について説明する機会を設けたことでスポーツ団体やその他関係者への地域移行に関する認知が広まった。
スポーツ団体からの意見や問合せなども増えてきている。

バス等の運行実績

・実績なし

バス等の運航経費・収入

・実績なし

今後の課題と対応方針

・練習会場までの輸送関係
・クラブ運営団体への協力体制の強化

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

広域の協議会立ち上げとは至らなかったが、2町村の事務局で協議しながら、男子バレーボール部を広域地域クラブとして発足した。

各自治体の役割

クラブに対する支援の調整
運営体制の強化
クラブとの定期的な会議の調整

移動手段

【中川村から飯島町への移動】
公共交通機関を利用し、費用については中川村より補助する形をとった。

【飯島町から中川村への移動】
保護者等の送迎

事務局運営の方法

当面の間、事務局は飯島町が行っていくが、密に連携をとりながら進めていく。
将来的に、男子バレーボール部をモデルにほかの部活も広域連携を図り、広域組織として運営を行っていけるとよい。

取組の成果

3月に発足式を行った。
町村のクラブに対する支援について、それぞれ従来の形で行っていくことで調整した。
運営していく中で発生する課題について、定期的な会議の場を作り、解決へ向け協議することとした。

今後の課題と対応方針

飯島町から中川村への輸送手段の検討
バレーボール部以外の広域連携化
広域協議会設置へ向けた町村の調整

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

令和８年度末までの地域移行を目指し、令和9年度より受益者負担を徴収するよう推進計画を立てた。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

特になし。

■ランニングコストの分析

会場借料　減免により0円
指導者謝金　238,000円/人
指導者旅費　83,000円/人

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

ランニングコストの経費結果を受け、令和9年度の受益者負担開始へ向け、負担額の算出方法を検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

1人当たりの年間謝金・旅費の必要経費額が算出できた。
受益者負担を検討するにあたり、算出方法の基礎となる資料収集ができた。

今後の課題と対応方針

〇持続可能な運営に必要な受益者負担額の算出方法について検討する。クラブによって参加生徒数が異なるため、１人１人の負担額に差が出ないような仕組み作りを検討する。

〇町村間の支援金について増額できないか財政部局と交渉する。
〇指導者数が増加した場合の予算確保に取り組む
〇備品購入費や消耗品等の費用について試算する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

〇少年スポーツ団体は社会体育施設の使用料が減免されるため、どこの体育施設を利用しても受益者負担は発生しないが、一般スポーツ団体の利用とあまり競合しない学校施設を中心に活動することで安定的なスポーツ機会の提供を行う。

取組の成果

地域クラブになっても以前と変わらない日数のスポーツ活動を実施できた。

今後の課題と対応方針

〇継続して学校体育施設を中心に活動していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

〇クラブ化した際の事故等の責任の所在の明確化

取組の成果

具体的な結論は出せなかった。

指導者の属性や配置の工夫

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

今後の課題と対応方針

・各クラブとの協議機会を増やし、運営方法・方針等の明確化を図りながら組織体制を強化していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保　／　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

既存スポーツ団体の指導者や兼職兼業、元教職員を地域クラブ指導者とし、生徒が安心安全に活動できる体制つくりに努めた。

取組の成果（イ）

地域指導者(サッカー、ソフトテニス)や兼職兼業の教職員(バレー)、退職された元教職員など、長年当町のスポーツ振興にご尽力いただいている指導者を中心に指導者確保に努め、生徒が安心安全でスポーツ活動に取り組める体制つくりに努めた。

取組事項（ウ）

町スポーツ連絡協議会が主催するが主催する各種会議等に参加し、地域クラブ移行に関する推進計画について説明する機会を作った。

取組の成果（ウ）

町内スポーツ団体や保護者の地域移行に関する認知が広まり、スポーツ団体からの意見や要望、問い合わせなどが増加した。

今後の課題と対応方針

長期的な指導者確保とクラブ運営体制の強化
人材バンクや協議会での審議を活用した指導者の質・量の確保

継続した会議等への参加で関係団体との連携を強化し、町民主体の地域クラブとなるよう意見交換会の実施や意識向上を図る。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

前年度の反省から、職員体制の強化を図ったことで停滞してた地域移行に関する研究推進を行うことができた。

特に、指導者確保、クラブの運営開始、広域クラブの発足など一定以上の成果を得ることができた。

一方、広域クラブの生徒輸送に関することやクラブの運営体制に関すること、町村間での支援に対する調整などは次年度以降も引き続き課題として残る形となった。

中学校より、学校・行政・スポーツ団体の連携強化を課題として挙がってきているため、定期的な連絡会の開催やアンケートの実施等を検討し、より密な連携を図れるように努めていきたい。

●成果の評価

【中川村との協力体制の強化】

広域地域クラブ発足を目指し、協議していく中で、将来的な広域協議会設置へ向けての認識を共有することができた。

【クラブの発足】

運動部活動すべてで指導者確保ができ、活動を開始することができた。

【関係団体との協議・説明会の実施】

地域移行に関する協議や説明会の場を多く設けることができた。

●今後に向けて

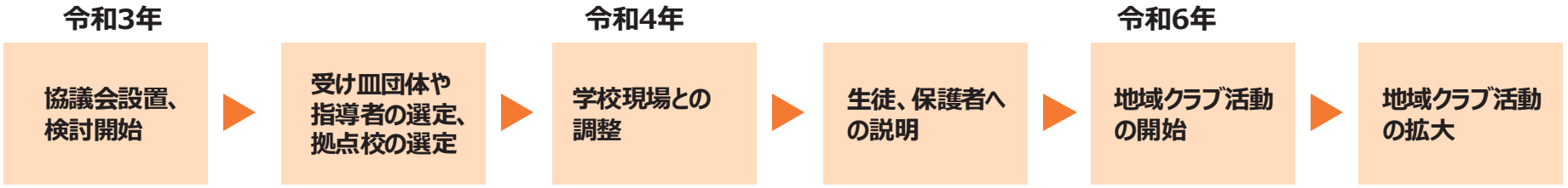
今年度の実証事業で明確になった課題を次年度以降に関係団体・中川村と調整し課題解決へ向け研究推進していく。

・輸送に関すること
・クラブに対するさらなる支援策の検討
・クラブ運営体制の強化
・受益者負担金額の検討　　など

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校、競技団体、飯島町スポーツ連絡協議会、総合型地域スポーツクラブ
町教育委員会、総括コーディネーター

●経過

令和3年度より飯島プラス1クラブを立ち上げ、地域移行に関する研究推進を行ってきた。令和６年度に総括コーディネーターを配置し、地域移行推進計画を作成し関係団体等への説明会を実施した。中学校に現存する運動部活動について、指導者確保ができ、クラブ活動を開始することができた。3月には広域地域クラブの発足式を行い、広域連携を図ることを町村間で合意した。

●今後の展開

飯島プラス1クラブ及び、競技クラブの運営体制の強化を図っていく必要がある。
将来的な受益者負担のため、今年度の謝金・旅費にかかった経費を参考に算出方法について検討する。
中学校・スポーツ団体との密な連携を図り、定期的な協議する場を確保する。